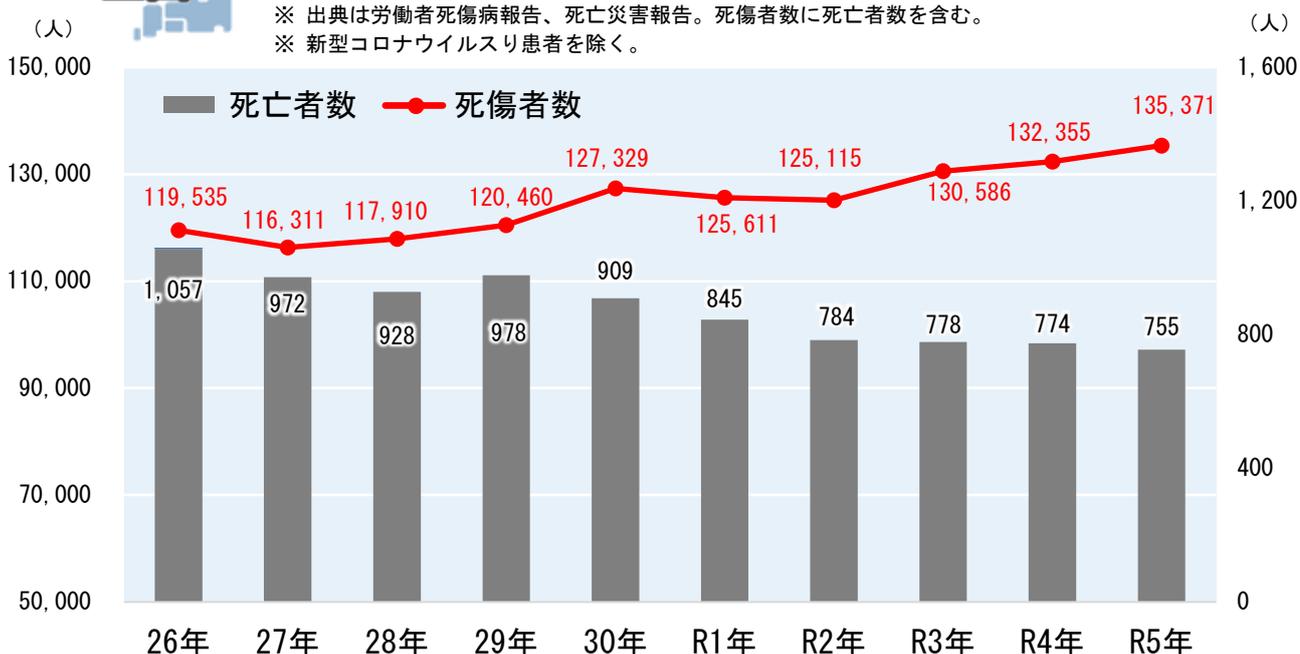


労働災害発生状況



休業4日以上の死傷者数 | 全産業

※ 出典は労働者死傷病報告、死亡災害報告。死傷者数に死亡者数を含む。
 ※ 新型コロナウイルスリ患者を除く。

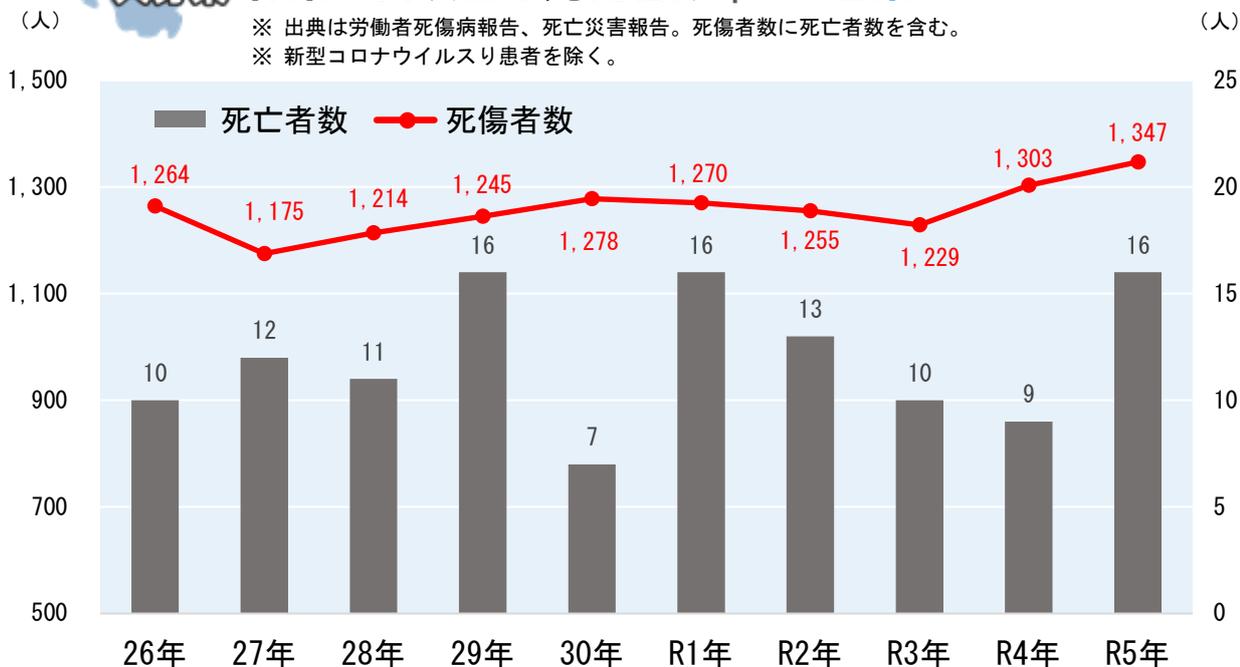


- ☞ 令和5年の死亡者数は755人で、前年から19人減少しました。
- ☞ 令和5年の死傷者数は、3年連続で増加し（前年比+2.3%）、過去10年間で最多となりました。
- ☞ 令和5年の新型コロナウイルスリ患者（休業4日以上）は、33,637人でした。

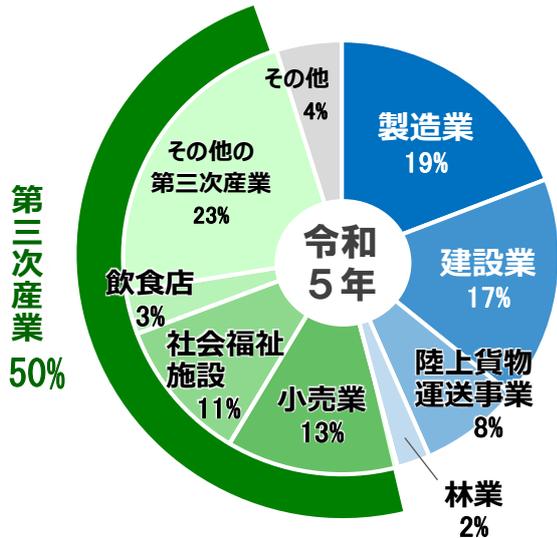


休業4日以上の死傷者数 | 全産業

※ 出典は労働者死傷病報告、死亡災害報告。死傷者数に死亡者数を含む。
 ※ 新型コロナウイルスリ患者を除く。

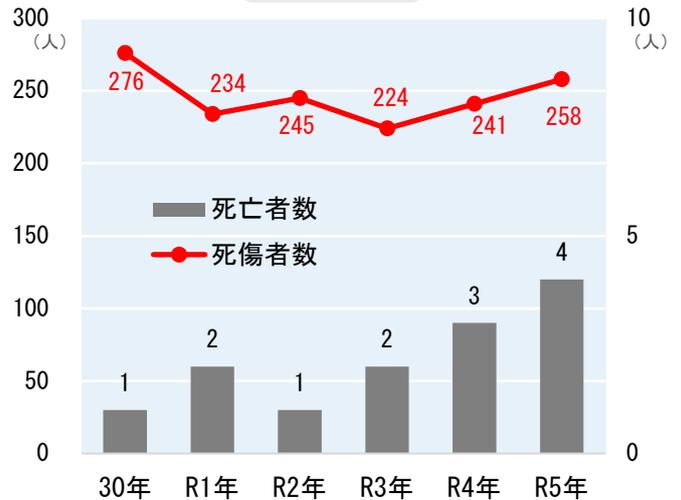


- ☞ 令和5年の死亡者数は16人で、過去10年で最多タイとなりました。死亡者の業種内訳は、建設業7人、製造業4人、畜産・水産業3人、商業2人でした。
- ☞ 令和5年の死傷者数は、2年連続で増加し（前年比+3.4%）、過去10年間で最多となりました。
- ☞ 令和5年の新型コロナウイルスリ患者（休業4日以上）は、309人（前年比-1,336人）でした。



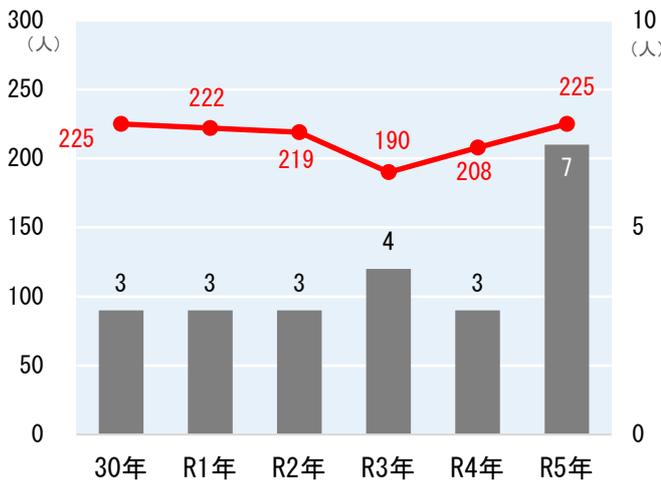
☞ 第三次産業の労働災害が50%を占めています。

製造業



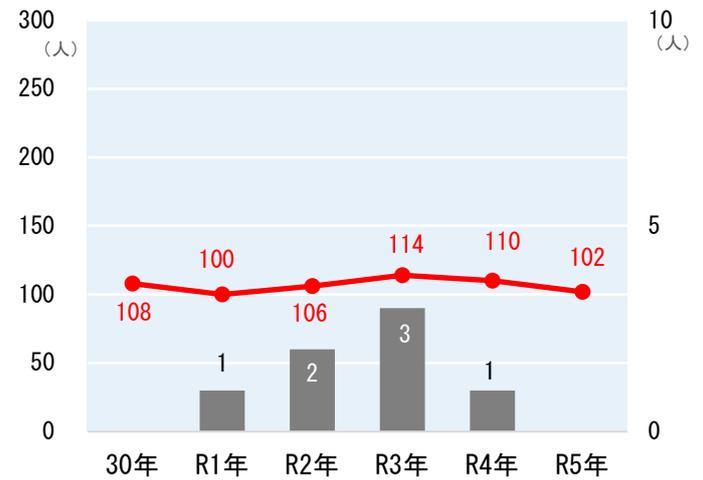
☞ 死亡災害が4件発生しました。
☞ 死傷者数は2年連続で増加しました。

建設業



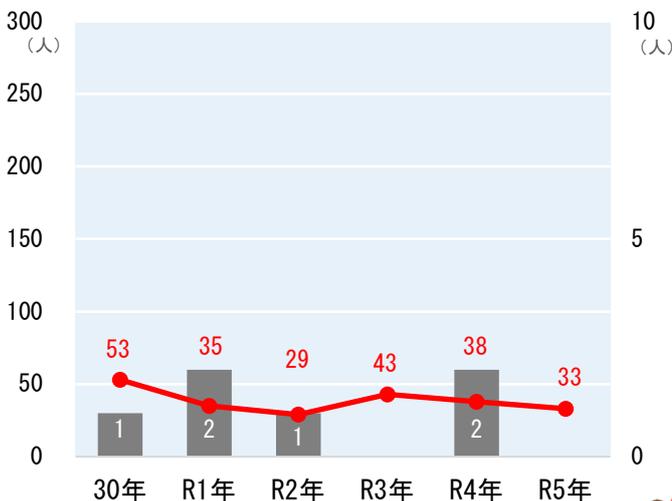
ココがPoint!
☞ 死亡災害は7件発生しました。
☞ 死傷者数は2年連続で増加しました。

陸上貨物運送事業



☞ 死亡災害ゼロは4年ぶりでした。
☞ 死傷者数は2年連続で減少しました。

林業



☞ 死亡災害は発生しませんでした。
☞ 死傷者数は5年間で37%減少しました。

第三次産業 | 死傷者数



ココがPoint!
☞ 第三次産業の死傷者数は、5年間で23%増加しています。とくに、小売業と社会福祉施設が増加を続けています。

業種	令和5年		令和4年		死傷者増減数	死傷者前年比
	死亡者	死傷者	死亡者	死傷者		
1 食料品製造業		54		44	10	122.7%
2 繊維工業		0		0	0	
3 衣服その他の繊維製品製造業		4		3	1	133.3%
4 木材・木製品製造業		28		25	3	112.0%
5 家具・装備品製造業		5		5	0	100.0%
6 パルプ・紙・紙加工品製造業		3		2	1	150.0%
7 印刷・製本業		1		0	1	
8 化学工業		12		16	▲4	75.0%
9 窯業土石製品製造業	1	26		18	8	144.4%
10 鉄鋼業	1	6	1	5	1	120.0%
11 非鉄金属製造業		3		0	3	
12 金属製品製造業	1	33		27	6	122.2%
13 一般機械器具製造業		7	1	10	▲3	70.0%
14 電気機械器具製造業		15		7	8	214.3%
15 輸送用機械等製造業		37		52	▲15	71.2%
16 電気・ガス・水道業		2		4	▲2	50.0%
17 その他の製造業	1	22	1	23	▲1	95.7%
1 製造業	4	258	3	241	17	107.1%
2 鉱業		1		0	1	
1 土木工事業	6	83		71	12	116.9%
2 建築工事業		79	2	85	▲6	92.9%
3 その他の建設業	1	63	1	52	11	121.2%
3 建設業	7	225	3	208	17	108.2%
1 鉄道・軌道・水運・航空業		3		1	2	300.0%
2 道路旅客運送業		17		8	9	212.5%
3 道路貨物運送業		102	1	108	▲6	94.4%
4 運輸交通業		123	1	118	5	104.2%
1 陸上貨物取扱業		0		2	▲2	0.0%
2 港湾運送業		3		5	▲2	60.0%
5 貨物取扱業		3		7	▲4	42.9%

業種	令和5年		令和4年		死傷者増減数	死傷者前年比
	死亡者	死傷者	死亡者	死傷者		
1 農業		24		34	▲10	70.6%
2 林業		33	2	38	▲5	86.8%
6 農林業		57	2	72	▲15	79.2%
1 畜産業	2	13		12	1	108.3%
2 水産業	1	3		4	▲1	75.0%
7 畜産・水産業	3	16		16	0	100.0%
1 卸売業		25		28	▲3	89.3%
2 小売業	2	171		139	32	123.0%
3 理美容業		2		3	▲1	66.7%
4 その他の商業		10		12	▲2	83.3%
8 商業	2	208		182	26	114.3%
9 金融・広告業		18		6	12	300.0%
10 映画・演劇業		0		0	0	
11 通信業		16		9	7	177.8%
12 教育・研究業		7		13	▲6	53.8%
1 医療保健業		57		61	▲4	93.4%
2 社会福祉施設		144		136	8	105.9%
3 その他の保健衛生業		2		1	1	200.0%
13 保健衛生業		203		198	5	102.5%
1 旅館業		37		34	3	108.8%
2 飲食店		43		47	▲4	91.5%
3 その他の接客娯楽業		20		22	▲2	90.9%
14 接客娯楽業		100		103	▲3	97.1%
15 清掃・と畜業		68		84	▲16	81.0%
16 官公署		4		1	3	400.0%
17 その他の事業		40		45	▲5	88.9%
第三次産業合計	2	664		641	+23	103.6%
合計	16	1,347	9	1,303	+44	103.4%

※死亡者数は、死傷者数の内数。

※「第三次産業」は8号～17号の合計。

※前ページの「陸上貨物運送事業」は4-3と5-1の合計。

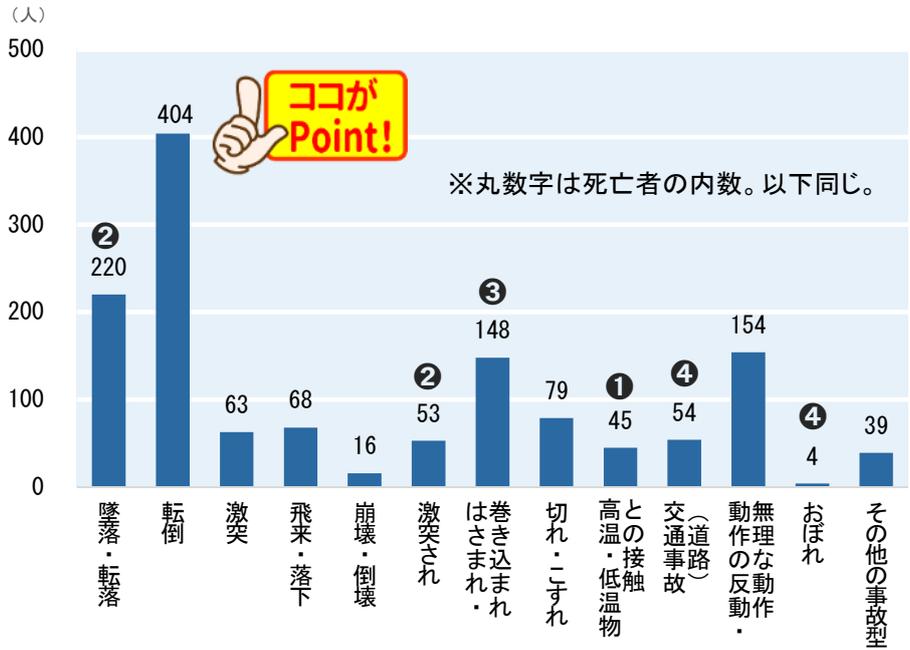
事故の型別

☞ 14年連続で「転倒」が最多となっています。

令和5年の「転倒」の割合は29.9%となっています。

☞ 「交通事故（道路）」、「おぼれ」で4件、「はさまれ、巻き込まれ」で3件の死亡災害が発生しています。

☞ 「動作の反動、無理な動作」には腰痛などが含まれています。



発生月別

☞ 6月に最も多く発生しています。次いで8月、11月の順に多くなっています。

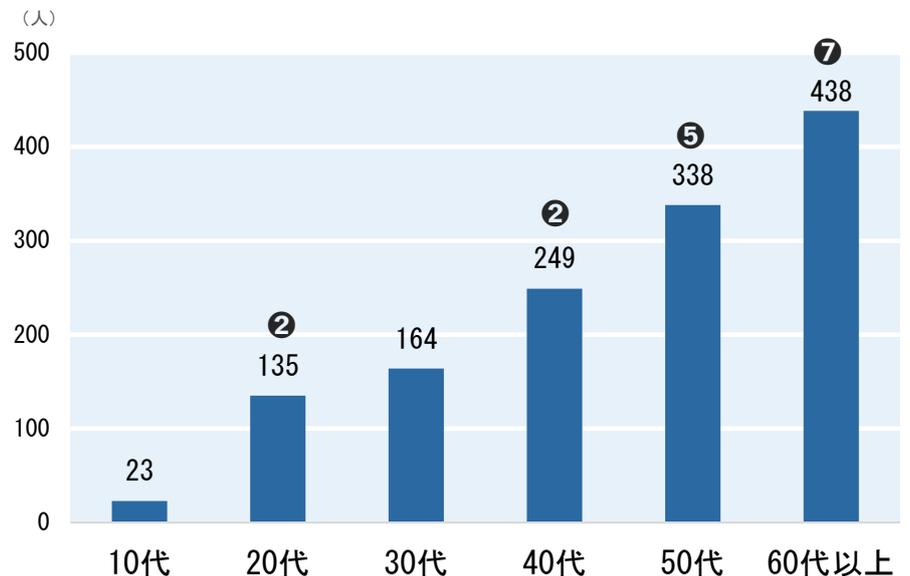
☞ 死亡災害は6月から9月までの間に10件発生しました。



被災者年齢別

☞ 年代が高くなるにつれて死傷者が増えています。50代以上で全体の57%となっています。

☞ 死亡者は50代以上で全体の75%（12人）となっています。



大分県 死亡災害発生状況 | 令和5年

No.	発生月	性別	職種	災害発生状況
	時間帯	年齢	経歴	
	業種	事故の型 起 因 物		
1	3月	男	土工	生コンクリートの運搬に使っていた農業用小型運搬車（最大積載荷重0.5 t）の運転席に乗って川床を前進させていたところ、当該運搬車と橋の側面との間に上半身を挟まれたもの。
	13時台	40代	3年	
	土木工事業	はさまれ、巻き込まれ 整地・運搬・積込み用機械		
				<p>原因 走行範囲を明確に定めていないなど、安全な作業方法の検討を行っていなかったこと。</p> <p>対策 構造物に挟まれるおそれがある場合には、停止位置を明確に定めるとともに、作業の監視を行うこと。</p>
2	4月	男	作業員	業務用乾燥機から布おむつを取り出す作業に従事していたところ、乾燥機の鋼製ふたと乾燥機本体との間に首を挟まれているところを発見されたもの。
	12時台	50代	15日	
	その他の製造業	はさまれ、巻き込まれ 乾燥設備		
3	6月	男	作業員	牛（約30頭）を牛舎へ移動させた後、牛舎の床に埋もれた状態で発見されたもの。
	13時台	50代	15年	
	畜産業	激突され その他の環境等		
4	6月	男	作業員	豚の糞を収集・排出するスクリーコンベヤーの周辺に堆積した糞を掻き落としていたところ、下半身を巻き込まれたもの。
	10時台	50代	10年	
	畜産業	はさまれ、巻き込まれ コンベア		
<p>原因 コンベヤーの回転軸に覆い等の接触防止措置を講じていなかったこと。</p> <p>対策 コンベヤーの回転軸の周囲に覆いを設けること。 労働者が近づくことができない柵等を設けること。</p>				<p>スクリーコンベヤーのイメージ</p>
5	7月	男	作業員	砂防ダム工事現場で、大雨のため片付け作業をしていたところ、増水した川に流されたもの。
	15時台	40代	20年	
	土木工事業	おぼれ 水		
6	7月	男	現場代理人	砂防ダム工事現場で、大雨により増水した川に流された作業員を救出しようとして、流されたもの。
	15時台	60代	47年	
	土木工事業	おぼれ 水		
7	7月	男	作業員	土地造成工事現場で作業して帰宅したが、同日夜に救急搬送され、熱中症により死亡したもの。
	19時台	50代	2年	
	土木工事業	高温・低温の物との接触 高温・低温環境		
8	8月	男	配達員	原動機付自転車で新聞配達中、電柱に激突して倒れているところを発見されたもの。
	5時台	60代	13年	
	小売業	交通事故（道路） 乗用車、バス、バイク		

No.	発 生 月	性 別	職 種	災 害 発 生 状 況
	時 間 帯	年 齢	経 験	
	業 種	事 故 の 型		
		起 因 物		
9	8月	男	配達員	原動機付自転車で新聞配達中に道路から水田に転落した後、道路脇の側溝で倒れているところを発見されたもの。
	5時台	60代	5年	
	小売業	交通事故（道路） 乗用車、バス、バイク		
10	8月	男	作業員	片側1車線の農道の草刈作業中、車道で交通誘導をしていたところ、走行してきた一般車両にはねられたもの。
	13時台	60代	16年	
	土木工事業	交通事故（道路） 乗用車、バス、バイク		
11	9月	男	作業員	道路新設工事において、斜面の立木（榎、胸高直径40cm）を伐倒するためにチェーンソーで追い口を作っていたところ、当該立木が裂けて激突したもの。
	9時台	50代	5年	
	土木工事業	激突され 立木等		
11	原因 受け口の深さが不足していたこと。 偏心木の伐倒に当たって裂け上がりの危険を防止する措置を講じていなかったこと。			
	対策 立木を伐倒するときには、伐根直径の4分の1以上の受け口を作り、かつ、適当な深さの追い口を作ること。			
12	9月	男	作業員	2階建て建物の外階段で、階段の水洗い作業をしていたところ、足を踏み外して階段を転落したものの。
	13時台	80代	33年	
	金属製品製造業	墜落、転落 階段、栈橋		
13	11月	男	作業員	排ガス処理設備に接続した排気口内で清掃作業を行っていたところ、約3m下の排ガス処理設備内に墜落したものの。
	20時台	20代	9年	
	鉄鋼業	墜落、転落 その他の炉、窯等		
14	12月	男	運転手	トラックで工事現場に向かう途中、信号機がある交差点で大型トレーラーと衝突したものの。
	12時台	60代	38年	
	その他の建設業	交通事故（道路） トラック		
15	12月	男	運転手	コンクリートミキサー車を洗っていた被災者が、洗車場端から1.6m下の集水樹に頭部が浸かった状態で発見されたもの。
	10時台	70代	39年	
	窯業土石製品製造業	おぼれ その他の仮設物、建築物、構築物等		
15				原因 洗車場の端で洗車作業を行わせるに当たり、墜落による危険を防止する措置を講じていなかったこと。 対策 洗車場の端で墜落の危険がある箇所に、手すりを設ける等の墜落防止措置を講じること。
16	12月	男	作業員	海上において定置網の入れ替え作業中、定置網に接続したロープを外した際の反動で乗っていた小型船が揺れ、海に転落しておぼれたもの。
	8時台	20代	7年	
	水産業	おぼれ その他の乗物		